

| | | | |
|---------------------------------|--|---------|---|
| 1. 科目名 (単位 数) | 第二言語習得理論 (2単位) | 3. 科目番号 | EIJP2341 |
| 2. 授業担当教員 | 大橋 真由美 | | |
| 4. 授業形態 | 講義、演習 (グループワークを含む) | 5. 開講学期 | 春期 |
| 6. 履修条件・ 他科目との関係 | | | |
| 7. 講義概要 | 第二言語を学び習得する際の理論や問題点について学んでいく。第二言語習得は、日本語や外国語教師になることを目指すものにとって必要な知識である。本講座では、基本的な専門用語や、第二言語習得の際に起こる問題について学ぶ。 | | |
| 8. 学習目標 | 第二言語習得(SLA)の基本的な概念の理解を目的とする。 | | |
| 9. アサインメント (宿題) 及びレポ ート課題 | 1. 授業はペアワークやディスカッションを行いながら進める。教科書の指定ページを読み、授業前に印象に残ったこと、疑問点などを整理しておくこと (事前課題)。授業後は授業の感想・コメント、質問を記入して提出すること (事後課題)。 2. 学習者の発話を分析し (第11回授業)、分析結果をレポートにまとめて提出する。 | | |
| 10. 教科書・参考 書・教材 | 【教科書】 高見沢孟 監修『新・はじめての日本語教育 1 日本語教育の基礎知識』アスク出版、2016年 ※「日本語教育の理論と方法」でも使用 【参考書】 大関浩美著『日本語を教えるための第二言語習得論入門』くろしお出版、2010 | | |
| 11. 成績評価の規準 と評定の方法 | ○成績評価の規準 1) 第二言語習得 (SLA) の基本的な概念について自分のことばで説明できるようになったか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する 1 授業への参加態度 総合点の 30% 2 試験 (小テスト・期末テスト・口頭発表試験 等) 総合点の 30% 3 提出課題 (レポート等) 総合点の 40% なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。 | | |
| 12. 受講生への メッセージ | この授業では、第二言語の習得プロセスや理論を学び、どのような指導が効果的なのか検討していく。日本語を教える日本語教師だけでなく、自身の外国語学習にも大いに役立つだろう。これまでの外国語学習経験や周りの日本語学習者の発話などを振り返りながら、授業に参加してほしい。 | | |
| 13. オフィスアワー | 初回の講義で通知する。 | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | |
| 第 1 回 | オリエンテーション 第 7 章 心理学 -学ぶことのメカニズム- 1. 心理学と日本語教育 / 2. 現代の心理学とは 3. 学習 (learning) とは / 4. 学習の形態 | 事前学習 | 自身の外国語学習経験を振り返り、難しかったことやこれまでの誤用について考えてくる。 |
| | | 事後学習 | 教科書 pp. 222~229 に目を通しておく。 |
| 第 2 回 | 第 7 章 5. 発達の成熟と学習の関係 | 事前学習 | 教科書 pp. 230~234 を熟読しておく。 |
| | | 事後学習 | 授業の疑問点、感想・コメントを書く。 |
| 第 3 回 | 第 7 章 6. 初期学習 / 7. 言語の習得と臨界期 | 事前学習 | 教科書 pp. 232~237 を熟読しておく。 |
| | | 事後学習 | 授業の疑問点、感想・コメントを書く。 |
| 第 4 回 | 第 7 章 8. 条件づけ学習 / 9. スキナーの行動分析 | 事前学習 | 教科書 pp. 238~245 を熟読しておく。 |
| | | 事後学習 | 授業の疑問点、感想・コメントを書く。 |
| 第 5 回 | 第 7 章 10. スキナーの行動分析の教育への応用 11. 心理学とほかの領域との関連 | 事前学習 | 教科書 pp. 246~250 を熟読しておく。 |
| | | 事後学習 | 授業の疑問点、感想・コメントを書く。 |
| 第 6 回 | 第 8 章 第二言語習得 1. 母語習得に関する理論の展開 2. 学習者の言語の特徴-中間言語① | 事前学習 | 教科書 pp. 252~257 を熟読しておく。 |
| | | 事後学習 | 授業の疑問点、感想・コメントを書く。 |
| 第 7 回 | 第 8 章 2. 学習者の言語の特徴-中間言語② | 事前学習 | 教科書 pp. 258~262 を熟読しておく。 |
| | | 事後学習 | 授業の疑問点、感想・コメントを書く。 |
| 第 8 回 | 第 8 章 3. 第二言語習得における学習者の母語の影響 I 母語の影響の再検討 II コミュニケーションにおける学習者の母語の影響 | 事前学習 | 教科書 pp. 263~269 を熟読しておく。 |
| | | 事後学習 | 授業の疑問点、感想・コメントを書く。 |
| 第 9 回 | 第 8 章 3. 第二言語習得における学習者の母語の影響 III 母語の影響を説明する言語学的アプローチ | 事前学習 | 教科書 pp. 269~273 を熟読しておく。 |
| | | 事後学習 | 授業の疑問点、感想・コメントを書く。 |
| 第 10 回 | 第 8 章 4. 学習者と母語話者の談話 | 事前学習 | 教科書 pp. 273~279 を熟読しておく。 |
| | | 事後学習 | 授業の疑問点、感想・コメントを書く。 |
| 第 11 回 | 学習者の発話分析 | 事前学習 | 学習者の発話資料に目を通し気づいたことをまとめておく。 |
| | | 事後学習 | 分析結果をまとめてレポートとして提出する。 |
| 第 12 回 | 第 8 章 5. 教室指導と第二言語習得 | 事前学習 | 教科書 pp. 280~285 を熟読しておく。 |
| | | 事後学習 | 授業の疑問点、感想・コメントを書く。 |
| 第 13 回 | 第 8 章 6. 第二言語習得に関する個別要因 | 事前学習 | 教科書 pp. 286~291 を熟読しておく。 |
| | | 事後学習 | 授業の疑問点、感想・コメントを書く。 |
| 第 14 回 | 第 9 章 学習ストラテジー | 事前学習 | 教科書 pp. 294~305 を熟読しておく。 |

| | | | |
|------|--|------|----------------------------|
| | 1. 言語学習はだれが管理しているのか？ 2. オックスフォードによる学習ストラテジーの分類 3. シャモットによる学習ストラテジーの指導法-+ | 事後学習 | 授業の疑問点、感想・コメントを書く。 |
| 第15回 | これまでの内容の振り返り、期末試験の準備 | 事前学習 | 教科書、学習内容を復習し、疑問点を明らかにしておく。 |
| | | 事後学習 | 教科書を復習し、期末試験の準備をする。 |
| 期末試験 | | | |